

尾崎・東鳥取地域包括支援センター
西鳥取・下荘地域包括支援センター

ごあいさつ ～新年度の抱負～

阪南市尾崎・東鳥取地域包括支援センター

主任ケアマネジャー
鈴木

ケアマネジャー
後藤

社会福祉士
今井

認知症地域
支援推進員
田口

主任ケアマネジャー
家門

管理者／看護師
宮本

看護師
山口

社会福祉士
畠中

地域包括支援センターが委託され、丸3年が経過しました。初年度と比べ、総合相談の件数が約3倍に増加しました。新元号になる年でもあり、気持ちも新たに、しかし着実に、日々の活動に取り組んで参りたいと思います。

阪南市西鳥取・下荘地域包括支援センター

ケアマネジャー
植田

主任ケアマネジャー
寺井

保健師
大塚

社会福祉士
船津

認知症地域
支援推進員
岡

管理者／社会福祉士
熊抱

保健師
安永

「大丈夫ですか？」



風災害時のできごと

担当するケアマネジャーが
安否確認のためにかけた電話。



ケアマネ「大丈夫ですか？」 利用者「大丈夫です」

数日後、ヘルパーさんからの連絡で、ガラスが割れてそのままになっていると報告が・・・。

ひとりでやるから「**大丈夫**」なのか。
家族に手伝ってもらうから「**大丈夫**」なのか。
誰かに手伝ってもらうのは気が引けるから「**大丈夫**」なのか。
ガラスが割れてるくらいなら大した事無いから「**大丈夫**」なのか。

中には「**大丈夫ではない**」事態が起こっているかどうかの確認を、できない方もいらっしゃるかもしれません。

“何が大丈夫で、何が大丈夫ではないのか”

「ガラスは割れていませんか？」、「家族さんは来られますか？」など、具体的に聞くことや、訪問して直接お話を伺うことの大切さを学んだ瞬間でした。

昨年災害以降、さらなる災害対策が各地域単位で住民さんが中心となって進められています。あらゆる機関が協働して進めるべき課題のひとつなので、包括も協力体制を強めていきたいと思えます。

地域と専門職～ともに進めるまちづくり～

福祉委員や民生委員等と医療や介護の専門職が福祉課題を話しあい、地域づくりへとつなげています

★○○さん支えあい会議



東西合計 開催数

29回

実際に何らかの形で地域生活が困難になっている方やその家族を支えるため、家族・地域・専門職が『それぞれのできることに』について協議。様々な視点から支援を検討することができ、顔の見える関係を通じた信頼強化にもつながっています。

★校區別支えあい会議

見守り訪問で持参する絵手紙を地域のデイサービスと協働して提供

高齢者の把握を進めるため、ケアマネの担当利用者に安心ダイヤル登録を促進



福祉委員、民生委員や地域内の各種団体、ケアマネジャーや医療・介護の事業所、CSW、社協、包括が集まり、地域でできることについて話し合いを行っています。

下荘地区の話し合いでは、福祉委員会からの呼びかけがきっかけで、地域と専門職が協働した様々な取組に発展しています。直近の課題は“災害”。住民さんのための支援ネットワークづくりを広めていきたいと思えます。

認知症支援

★マスターズC a f e



『認知症にやさしい図書館プロジェクト』の一つとして、認知症当事者、介護者等が運営する「マスターズC a f e」が誕生しました。

「家族が認知症になったとき、相談場所が分からず困った」「悩みを聞いてもらえる場所、人と出会える場所はとても必要なこと」という思いが原点となっています。

★認知症講演会

『ファイブ・コグ（MCI検査キット）』『認知症もしバナカード』を通じて、「認知症になったらどうするか」をグループで話し合いました。



西



藪下脳神経外科・内科
認知症対応医 藪下 哲成先生

”ふだん気になることや困りごとを一緒に話そう“をテーマに、講演会と座談会を開催しました。